

山陽小野田市ふるさとづくり協議会 令和4年度中学生市議会 報告書

令和4年8月3日（水）

午後2時30分～午後5時30分



主催：山陽小野田市ふるさとづくり協議会

中学生議会会議事日程

日程1 一般質問

- 1番 竜王中学校 平山 茅人 議員、岩佐 倅 議員 2
住みやすいまちづくりのために
- 2番 小野田中学校 吉田 遙姫 議員、小山 寛太 議員 4
魅力を伝え、増やし、みんなが住ごしやすい町へ
- 3番 高千帆中学校 小江 菜月 議員、松本 美乃 議員 6
持続可能な住み良い山陽小野田市になるために
～今後も山陽小野田市の発展をめざして～
- 4番 高千帆中学校 森 陽菜乃 議員、山田 真大 議員 8
若者が関心を抱き、人々が集まるまちに
- 5番 厚狭中学校 河村 海飛 議員 11
スポーツの力で観光開発 ～未来は自分たちの手で作る～
- 6番 厚狭中学校 金子 和葉 議員、寺坂 めい 議員 13
厚狭を「エモい」街に
- 7番 厚陽中学校 山田 妃奈 議員、佐古 妃真李 議員 15
地域を活性化させるために
～「人が集まるまち」・「住みたくなるまち」づくり～
- 8番 埴生中学校 重田 篤輝 議員、田中 悠馬 議員 17
自分たちの町・山陽小野田市の活性化をめざして、できること

議長感想 20
塩田 七海 議長（高千帆中学校）、十河 航 議長（小野田中学校）

日程2 講評 21
山陽小野田市長、山陽小野田市議会議長、山陽小野田市教育長

日程3 主催者お礼 26
山陽小野田市ふるさとづくり協議会副会長

その他 記念撮影

一般質問・答弁要旨

1 番 竜王中学校 平山 茅人 議員、岩佐 倅 議員



テーマ『住みやすいまちづくりのために』

《市として行ってほしいこと》

- ◎子どもが気軽に利用できて思い切って遊べる公園が必要
- ◎子どもや高齢者など交通弱者に配慮した交通機関の整備
- ◎人を呼び込むための観光資源の活用や定住のための仕事の創出を進める

《自分たちができること・やっていきたいこと》

- ◎山陽小野田市の魅力を中学生目線で発信できる場をつくる
- ◎お祭りなどの地域行事にボランティアとして参加するだけでなく、企画の段階から参加し、地域の方とのつながりを深める
- ◎今ある施設を大切にし、ボランティア活動などを通して地域への愛着をもつ

《市からの回答》

- ◎子どもが気軽に利用できて思い切って遊べる公園が必要
(大谷建設部長)

市内には、浜河内緑地、新沖緑地、東沖緑地、有帆緑地の四つの緑地があります。これらの緑地は工場と住宅地の間に緩衝地帯として設置されたもので、公害や災害の防止の役割を担っており、市民の生活や環境を守っています。緑地に植えられた木々も整備された当時に比べると大きく成長しています。そのため、緑地内が薄暗く怖さを感じる場所があることは十分に理解しております。薄暗さを解消できるよう、年次的に木々の手入れを行い、市民の皆さんに、安心して御利用いただけるよう取り組んでまいります。

次に、ボールの使用が禁止されている公園につきましては、市街地にある公園の多くは、地域の皆さんに公園の管理をお願いしています。公園には小さな子どもさんからお年寄りまで幅広い世代の方が利用されることから、いつ、どこから飛んでくるかわからないボールを怖いと感じられる方がいることも考えられます。そのため、公園をどなたにも安心して利用していただきたいとの思いから、ボールの使用を禁止されているのではと思われま。ただし、全ての公園でボールの利用が制限されているわけではありま。せんので、ボールが利用できる公園では思い切り楽しんでいただきたいと思いま。

◎子どもや高齢者など交通弱者に配慮した交通機関の整備 (辻村経済部長)

山陽小野田市では、交通機関の利便性を高め、市民の皆さんに自由に移動していただけるよう、JRやバス会社に対して、利便性の向上に向けた働きかけを行っております。こうした取組を通じて、中高生の通学帰宅時間や土日の部活動などに配慮した、運行時間の改善や、埴生方面から、中学生の皆さんにも人気のおのだサンパークに行くバス路線の新設など、運行経路の改善を図っているところです。

また交通機関がない地区においては、予約に応じ、スーパーや病院などの目的地までお連れするオンデマンドタクシーの導入を進めております。

山陽小野田市としましては今後とも、交通機関にかかるニーズを的確に把握しながら、交通の利便性、また利用促進に努めてまいりたいと思いま。

◎人を呼び込むための観光資源の活用や定住のための仕事の創出を進める (川地総務部長)

山陽小野田市には多くの観光資源がございます。例えば、収穫体験や四季の花々を楽しめる花の海、日本の夕陽100選に選ばれた夕陽を眺望できるきららビーチ焼野や、花見、夜景、ヒメボタル、アサギマダラ、山野草などの自然を満喫できる竜王山公園、ガラス文化を学んだりガラスの魅力を体験したりできるきららガラス未来館などがあります。これらの観光資源は、山陽小野田市のホームページにおきまして、Googleの地図情報と連携した山陽小野田市ウェブマップで紹介しているほかに、観光スポット、グルメ、名産品等の情報を掲載した観光パンフレット、スマイルスポットや、山陽小野田市の魅力を紹介する観光動画などでPRをしているところです。

次に、こういった観光資源を活用した観光誘客イベントとしましては、皆さんも御存じのとおり、春には竜王山公園で桜まつり、海水浴シーズンには焼野海岸でやけの美夕フェスタを開催しています。そのほか、きららガラス未来館では、どなたでも気軽にガラス製作体験ができるように、サンドブラスト体験、ジェルキャンドル体験など、様々な体験を準備して、多くの方に山陽小野田市を訪れてもらえるように取り組んでいるところです。

山陽小野田市では、市外や県外の企業の方に工場建設の誘地や、新しく自分自身で仕事を始める人を支援するなど、仕事の面から山陽小野田市への定住のサポートが出来ないかを考えているところです。今後も、山陽小野田市の魅力的な観光資源などの情報発信をしっかりとやっていこうと思っております。

2番 小野田中学校 吉田 遙姫 議員、小山 寛太 議員



テーマ『魅力を伝え、増やし、みんなが住ごしやすい町へ』

《市として行ってほしいこと》

- ◎企業誘致をする
- ◎映画館、宿泊施設を作る
- ◎公園に遊具を増やす
- ◎街灯を設置する

《自分たちができること・やっていきたいこと》

- ◎まちのイベントへの参加
- ◎自分から町について知ろうとする
- ◎クリーン作戦などの地域貢献

《市からの回答》

- ◎企業誘致をする
- ◎映画館、宿泊施設を作る
(辻村経済部長)

山陽小野田市では、令和4年4月の人口は6万464人で、皆さんの生まれた平成19年から15年間で約7000人と、人口が1割以上減少しており、人口減少の対策は市役所の重要な業務となっています。御提案のお店や映画館の誘致については、皆さんのような、若い方を市外から呼び寄せることができるツールの1つであり、市内外から、市内のお店や映画館に足を運んでもらうことが、山陽小野田市のにぎわいにつながり、町が活性していくものと考えています。

映画館については、経営面などから今すぐの誘致は難しいですが、その他のお店については、新たに進出しやすいようにリフォーム補助金などの補助制度を設けて、お店を

開業したい方への支援を商工会議所などと連携して実施しております。また、企業誘致につきましては、現在、県などと連携して、進出したい企業などの情報を集めながら、今ある団地でいえば小野田楠企業団地がありますけどもこういったところの企業の誘致を積極的に進めているところです。山陽小野田市としましては、様々な人がアイデアを出し合っただけでなく、みんなが過ごしやすいまちをつくっていきたいと考えておりますので、皆さんのような、若い方にもぜひ協力いただければと思っております。

◎公園に遊具を増やす

(大谷建設部長)

山陽小野田市には、大小約70の公園があります。そのうち遊具を設置している公園は50か所あります。現在、山陽小野田市においては、活力と笑顔あふれるまちを将来都市像として、スマイルシティ山陽小野田をキャッチフレーズに、市民の皆さんと協力してまちづくりを進めています。このまちづくりを進めていく上での重点プロジェクトの1つに、笑顔の源となる心と体の健康を保ちつつ、誰もが笑顔で年を重ねていくことで健康寿命を延ばしていくことを目指す、スマイルエイジングの取組を進めています。このスマイルエイジングの取組の一環として、市民の皆さんの運動習慣のきっかけになればと、市内4か所の都市公園においてウォーキングコースの改修や健康遊具の設置を進めています。小野田中学校区の須恵健康公園には、令和2年度に健康遊具7基を設置していますので、ぜひ御利用いただければと思います。

公園の遊具等の整備につきましては、子ども以外にも、大人やお年寄りまで幅広い世代が利用できる健康増進遊具の設置を含め、検討してまいりたいと考えています。

◎街灯を設置する

(大谷建設部長)

街灯には、道路の交通安全を目的に設置される道路照明灯や、防犯を目的に自治会が設置する防犯外灯など、様々な用途があります。道路照明灯につきましては、市が管理する市道において、信号機のある交差点や交通量の多い横断歩道に設置しており、現在市内に267基が設置されています。また、道路照明灯の中には、市内の企業の皆さんの御協力により、スポンサーになっていただき電気代や修繕料を負担していただいているものが261基あります。交通安全とともに、防犯対策にもつながっていると考えております。また、防犯外灯につきましては、防犯を目的として、地域の自治会が設置場所等を決められるもので、現在市が把握している防犯外灯の数は約6000灯あります。市では、防犯外灯の設置や修理に係る経費の一部を補助する制度がございますので、自治会の防犯活動を支援し、地域の安全確保を図っています。夜暗くなっても明かりがあることで、防犯対策につながることから、道路照明灯の設置の必要性がある場所について、今後も検討してまいりたいと考えております。また、防犯外灯の設置につきましても、今後とも引き続き補助制度により、自治会の防犯対策を支援してまいります。

3番 高千帆中学校 小江 菜月 議員、松本 美乃 議員



テーマ『持続可能な住み良い山陽小野田市になるために ～今後も山陽小野田市の発展をめざして～』

《市として行ってほしいこと》

- ◎市の産業をさらに活性化し、企業を誘致して、市で働き、住む人を増やす
- ◎行事や施設をつくり、まちにずっといたいと思ってもらえる取り組みをする
- ◎まちの情報を広報やSNSで発信する

《自分たちができること・やっていきたいこと》

- ◎あいさつ、地域ボランティアに参加し、人との交流を大切にする
- ◎山陽小野田市の歴史や産業を知ったり、お気に入りの場所を見つけたりして、市に愛着をもつ
- ◎市の広報を読む、市のイベントに参加、参画する。

《市からの回答》

- ◎市の産業をさらに活性化し、企業を誘致して、市で働き、住む人を増やす
(大谷建設部長)

小野田インターチェンジから宇部湾岸道路までをつなげ、山口宇部空港と結ぶ道路の整備につきましては、山口市から宇部市を経て、山陽小野田市に至る山口宇部小野田連絡道路の整備において計画がされています。

御提案の小野田インターチェンジから宇部湾岸道路までの整備につきましては、アクセスの強化につながりますが、そのコースにつきましては、住宅密集地などを通過せざるを得ないことから膨大な事業費となることが想定されるため、将来の交通の需要や、社会経済情勢等を踏まえ、整備については慎重に判断していく必要があると考えております。

◎行事や施設をつくり、まちにずっといたいと思ってもらえる取り組みをする
(古川副市長)

スマイル・ハロウィンパーティーは、若い人たちが集まるおのだサンパークを会場に、市民の皆さん、学生の皆さんと一体となって、山陽小野田市の魅力を PR するイベントです。昨年、一昨年は、コロナの関係で中止となりましたが、本年度は、10月30日の開催に向けて、今鋭意準備を進めているところです。仮装パレードや仮装コンテスト、山口東京理科大学の学生さんによるハロウィンゲームコーナーなどを企画しておりますので、ぜひとも期待していただきたいと思います。それと、レノファ山口と連携したイベントということで、今、おのサンサッカーパークが、レノファ山口の練習拠点となっております。市としましては、レノファの選手に会えるまちということで、トレーニングマッチの開催、また、教育施設、保育施設等の訪問も企画して動いていただいておりますが、今後は、もっとレノファの選手と山陽小野田市が関わりを持てるような施策を考えていきたいと思っております。

市内を楽しく過ごせる施設としましては、きららガラス未来館、花の海等たくさんの施設があります。また、おのサンサッカーパークは、山陽小野田市に県から移譲されて2年がたちますので、いろいろな整備をしていきたいとも考えています。

◎まちの情報を広報やSNSで発信する
(川地総務部長)

10月からになります観光協会と一緒に連携したハッシュタグキャンペーンを行います。その中では皆さんが、山陽小野田市の楽しいところ、魅力あるところを、写真で投稿してもらって、それらのコンテストを行うことも考えております。そういったことで、皆さんと一緒に観光スポットなどを情報発信していきたいと思っております。もう1点は広報を月2回出しています。15日号では、スマイルアップというコーナーを設けており、こちらのほうで、山陽小野田市で活躍しておられる方を紹介しているコーナーがございます。今まで20人ぐらい紹介していますが、こういった形でいろんなツールを使って情報発信をしております。特に、広報につきましては、町に関わる内容がたくさん載っております。山陽小野田市の広報は、中学生の方々にもわかりやすい文面にしておりますので、ぜひとも皆さん読んでいただいて御意見等があれば、広報の所管課はシティセールス課にありますので、そちらのほうに御意見をいただくとうれしく思います。

【再質問】(小江議員)

先ほど小野田中学校の答弁で、街灯の設置は地域の方に任せているとありました。地域と地域の間には街灯が設置されておらず、すごく暗い道があります。地域の方によって街灯が設置された後、どのような場所に街灯が設置されているか確認はされていますか。

【市からの回答】(川崎市民部長)

山陽小野田市が調査しているよりも、各地域に住んでいらっしゃる自治会の皆さんのほうがとてもよく御存じなので、そこから御意見をいただいて、設置の支援をしているところです。

4番 高千帆中学校 森 陽菜乃 議員、山田 真大 議員



テーマ『若者が関心を抱き、人々が集まるまちに』

《市として行ってほしいこと》

- ◎グルメスポットやSNS映えするスポットをつくる
- ◎流行しているグルメや服などの若者向きな店などを新たに取り入れる
- ◎子どもたちが遊べる公園をつくる
- ◎老朽化した遊具の改善
- ◎キャンプ場のオートキャンプ場化
- ◎ホテルの施設と連携した取組を行う

《市への質問》

- ◎山陽小野田市のインスタグラムでは、どのような効果が出ていると感じているか

《自分たちができること・やっていきたいこと》

- ◎自分達がこのまちを知り、その知識をみんな（市内外の人々）に広めていきたい
- ◎「スマイルエイジング 弁当コンテスト」などに参加する

《市からの回答》

- ◎山陽小野田市のインスタグラムでは、どのような効果が出ていると感じているか
（川地総務部長）

定住のインスタグラム、成人式のインスタグラム、文化スポーツのインスタグラムと、市では今3つインスタグラムをつくっています。インスタグラムをやることによって、先ほど皆さんも言われたとおり、若い方々が見てみたいという思いが伝わるのではと思っています。広報やフェイスブック、パンフレットがありますけども、こういったインスタグラムに力を入れております。皆さんも、山陽小野田市のいいところを写真など

撮って投稿してもらおうとうれしいなと思っております。

◎グルメスポットやSNS映えするスポットをつくる

◎流行しているグルメや服などの若者向きの店などを新たに取り入れる

(辻村経済部長)

若い方からの知名度の高いおのだサンパークに今流行しているお店を新たに取り入れ、今以上におのだサンパークを含め市内に人を集めようとする議員さんの御提案は、街がにぎわい、活性化していくことにつながるものと考えています。おのだサンパークでは常に市場の動向を注目して、流行のブランド等のチェックをしながら、来店されるお客様の年齢層や売上げなどを総合的に判断し、お客様の声に耳を傾けながら、新しいお店の誘致を考えているとのこと。新しいお店を考える際の判断材料の1つとして、おのだサンパークにもお伝えするとともに、市としましても、おのだサンパークと連携して、若者が市内にとどまり、市外から訪れてもらえるまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。

◎子どもたちが遊べる公園をつくる

(大谷建設部長)

東沖緑地には、テニスやウォーキング散策等で、多くの方に御利用をいただいております。また東沖緑地の周辺は、おのだサンパーク、そしてレノファ山口の練習場であるおのサンサッカーパークがあるとともに、新有帆川大橋等の道路も整備され、交通の便もよく、非常に魅力的な地域であると考えています。幅広い世代の方に御利用いただけるよう、おのサンサッカーパークとの連携を含め、東沖緑地の整備について検討してまいりたいと思います。また、現在の東沖緑地も十分に魅力がありますので、その魅力を多くの方に知っていただけるよう、市のホームページ等により、情報の発信に努めていきたいと考えております。

◎老朽化した遊具の改善

(大谷建設部長)

江汐公園は、今から約50年前に整備され、現在140ヘクタールを超える地域を代表する自然豊かな公園で、テニスコートやキャンプ場、冒険の森などもあり、市内外から年間約14万人近くの方に利用いただいております。冒険の森は設置当初から、26年が経過し、老朽化した遊具につきましては、利用者の安全確保のため、一部の遊具は利用を禁止しているのが現状です。遊具の改善につきましては、多額の費用が必要となりますので、どのように改善していくかについて今後検討し、1日も早く御利用いただけるよう取り組んでまいりたいと考えております。

◎キャンプ場のオートキャンプ場化

◎ホテルの施設と連携した取組を行う

(大谷建設部長)

江汐公園キャンプ場のオートキャンプ場化につきましては、非常に魅力ある提案であると考えています。江汐公園のキャンプ場は、毎年多くの方に御利用いただいております。昨年度は約1700人の方に御利用いただいております。昨今のキャンプブームもあり、オートキャンプ場化することにより魅力が増せば、さらに多くの方に御利用いただけるのではないかと考えております。しかしながら、自然豊かな江汐公園には、ツツジやバ

ラ、アジサイなど四季折々の花を楽しむために訪れる方や、散策、ウォーキングを目的でお越しになる方も多く、園内には小さなお子様連れの御家族からお年寄りまで多くの方がいらっしゃいます。ちなみに、竜王山公園のオートキャンプ場の昨年度の利用者は約1万9000人弱となっています。このようなことから、園内を車が通ることになるオートキャンプ場の整備につきましては、利用者の安全面を第一に考えなければなりません。また、多額の費用が必要となりますので、利用者や地域の方々の御意見等をお聞きする中で、慎重に検討していかねばならないと考えています。

ナチュラルグリーンパークホテルの施設と公園の連携の取組につきましては、こちらにも非常に魅力的ないいアイデアであると思います。この例としましては、他の地域ではありますが、花の有名な公園とホテルがコラボして特別なランチを提供している例もあります。ホテルと公園が連携することによって御提案にありましたマルシェの開催を含め、面白い企画ができるのではと期待出来ますので、実現できるよう努めてまいりたいと思います。

【再質問】（山田議員）

山陽小野田市のインスタグラムについて、情報はいろいろいただけたのですが、結局どのような効果を感じているのですか。

【市からの回答】（川地総務部長）

今まで観光パンフレットをやってきましたが、特にインスタグラムは、若い方々が興味を持たれています。興味を持たれているツールで、そういった動画を見せることによって、より多くの若い人たちに見てもらえる効果があるのではないかと考えています。

【再質問】（山田議員）

考えているということは、実際の効果が余り感じていないということですか。

【市からの回答】（川地総務部長）

インスタグラムとフェイスブックについては、まだ取り組んで間もないです。山陽小野田市としては、観光パンフレットは昔からつくってきましたが、こういった特にインスタグラムも最近出たものですので、これからますます活用していこうと考えています。今後、より効果が発揮できるのではないかと考えております。



5番 厚狭中学校 河村 海飛 議員



テーマ『スポーツの力で観光開発～未来は自分たちの手で作る～』

《市として行ってほしいこと》

- ◎豊富な観光資源の関連付け
- ◎スポーツ施設の魅力を最大限に発揮する
- ◎環境美化運動

《自分たちができること・やっていきたいこと》

- ◎「環境美化のためのボランティアイベント」を開催してみたい
- ◎既存の行事を調べ、積極的に参加すること。
- ◎楽しみながらボランティア（ごみ拾いスタンプラリーなど）の企画
- ◎SNS を利用した広報活動

《市からの回答》

- ◎豊富な観光資源の関連付け
- ◎スポーツ施設の魅力を最大限に発揮する
(川崎市民部長)

ゴルフに関して今山陽小野田市内には6か所のゴルフ場があります。これは、山口県内でも有数のゴルフが楽しめる人気スポットとなっています。また、J2リーグで活躍するレノファ山口の選手が日々練習を行っている、おのサンサッカーパークがあることも山陽小野田市の大きな魅力と思っています。

現在、民間企業やサッカー協会が、Jリーガーによるサッカー教室を定期的に行っています。過去には、サッカーの神様と言われるジーコ選手や、また現在、日本代表チームの森保監督がこられたこともあります。また、レノファ山口の選手との触れ合う

イベントなども開催しております。

山陽小野田市の豊富な観光資源であるゴルフやサッカーの施設を十分に活用して、これからも子どもたちがスポーツに楽しんで触れ合い、体験できる取組をたくさん行いたいと思っています。皆さんからも、ぜひアイデアをいただき、一緒にスポーツの力で山陽小野田市の観光開発を進めていけることを楽しみにしています。

◎環境美化運動

(川崎市民部長)

管理が行き届いていない空き家や空き地は年々増えています。また、道路や公共施設などでは、心ない人のポイ捨てによってごみが散乱している場所もあります。そんな中、楽しく清掃活動ができる取組として、先ほど議員さんが以前に参加したことがあると教えてくださいました。毎年夏に焼野海岸で漂着したごみを拾い、拾ったごみの量を競うごみ拾い選手権を行っています。これは、快適環境づくり協議会と自治会連合会が主催で行うものですが、今年は約60人の子どもたちの参加があり、その様子が、8月1日号の広報の表紙に写真が載っています。もう御覧になられた方もいるかもしれませんがぜひもう一度見ていただきたいと思います。これに以前参加されたという議員さんのお話はとてもうれしくお聞きしたところです。これからは議員さんが、皆さんと一緒に環境美化活動として、例えば、ごみ拾いスタンプラリーなどのボランティア清掃を行われる際には、ごみ拾いのために必要な道具のお貸しや、ごみ袋を差し上げることが出来ますので、活動を計画するときに山陽小野田市の環境課に御相談をいただきたいと思います。皆さんと一緒にまちをきれいにし、未来の山陽小野田市を私たちの手でつくっていけることを心から願っています。

【再質問】 (河村議員)

山陽小野田市のホームページに、僕たち中学生や高校生が参加できるようなページをつくってもらおう。山陽小野田市のホームページとお互いリンクを張って、地域の観光を発信していくという提案については、どういう考えでしょうか。

【市からの回答】 (川地総務部長)

市民の方々が活躍しているところやイベントがあると、取材に赴き、写真を取らせていただいで、フェイスブックに載せております。今御提案のありましたことについて、コーナーを設けることについては、また改めて検討させていただこうと思います。山陽小野田市のホームページの中に、各小中学校のホームページを作られていると思いますが、そのリンクについても、積極的に考えていきたいと考えております。



テーマ『～厚狭を「エモい」街に～』

※「エモい」とは、英語の「emotional（エモーショナル）」を由来とした、「感情が動かされた状態」、「感情が高まって強く訴えかける心の動き」などを意味する日本特有の若者言葉。

《市として行ってほしいこと》

- ◎厚狭駅周辺の活性化
- ◎地産地消をテーマとした斬新で健康的な料理を全国に発信

《自分たちができること・やっていきたいこと》

- ◎現在ある商店や企業や、すでに行われているイベントの調査
- ◎市内の高校（厚狭高校総合家庭科等）とのコラボで、イベント企画・商品開発

《市からの回答》

- ◎厚狭駅周辺の活性化
（辻村経済部長）

御提案の駅ビルにつきましては、駅、商店街、また商店街の発展につきましては JR や、各商店の経営上の事情もありますので、関係者との調整や合意が必要な課題ではありますけれども、駅や商店街のにぎわいは、市のにぎわいに直結するものなので、その魅力向上に取り組んでいかなければならないと考えています。

特に来年は、美祢線が全線開通して100周年ということで、美祢市と長門市と連携して厚狭駅を含めた美祢線の振興策を検討しております。

またこれらの中では、厚狭駅周辺で実施するイベントの補助制度や美祢線を利用していたお客様が指定店で利用できる割引などを設けており、こうした制度を活用しながら、厚狭駅周辺のにぎわい創出を図っていけたらいいと思います。

厚狭駅周辺の活性化を願う若い方のアイデアや行動力、情熱など、今後の活力創出に欠かせないものですので、皆さんと一緒に厚狭駅周辺を盛り上げていければと考えております。

◎地産地消をテーマとした斬新で健康的な料理を全国に発信

(辻村経済部長)

山陽小野田市には地場産品を使用した商品として、ミヤタマモチを使用した日本酒や、アスパラガスを使用したドレッシング、寝太郎かぼちゃを使用したご飯のお友など、ふるさと納税などの返礼品として全国に発信されているものもあります。

また高校生が、地場産品を使用した商品の開発を行っており、次なる商品の開発に着手しているというふうにも聞いております。

地産地消の啓発や地場産品を使用した商品の開発販売、ふるさと納税に係る全国発信等は、農林水産業の振興に有益であり、推進すべき事業であると考えておりますので、売れるものづくり、総合的な支援に取り組んでいるところでございます。

斬新、健康的という観点も、売れるものづくりの要素であると考えておりますので、今後も、地場産品を使用した商品の開発を支援し、また山陽小野田市内各所のイベント等で販売して「エモい」町となるように取り組んでいきたいと思っております。

これまでも厚狭駅前では祭りなどもいろいろしてきました。そういったイベントを調査しながら、にぎわいが戻る、活性化できるようなものについてまた研究してまいりたいと思っております。





テーマ『地域を活性化させるために～「人が集まるまち」・「住みたくなるまち」づくり』

《市として行ってほしいこと》

- ◎人が集まるイベントの企画（公共施設の壁などのペイントなど）
- ◎空き家リフォーム、空き家カフェを作る
- ◎市の魅力をPR動画にしてネット配信する
- ◎ショッピングセンターや道の駅を作る
- ◎交通の便の悪さの解消
- ◎地域行事に市も率先して取り組んでほしい

《自分たちができること・やっていきたいこと》

- ◎夏祭りなどの地域行事に参加し、地域との交流を増やす
- ◎ポスターを作ったり、会議に参加したり、イベントを企画するなど、行事に準備から関わる
- ◎厚陽のキャラクターを作る

《市からの回答》

- ◎人が集まるイベントの企画（公共施設の壁などのペイントなど）
（古川副市長）

山陽小野田市では、オレンジ色をイメージカラーに定めており、オレンジ色をベースに山陽小野田市もPRしていこうと考えています。そうした中で、いろんなイベントをとるということですが、まず今あるイベントを大きくしていくというのも1つであり、地域の資源を生かした、海が多いから釣り大会、きれいな夜空があるので星を見るイベント

などがございます。そういったイベントは、皆さん方、若い人の発想が非常に大切ですのでどんどん出していただけたらと思います。また、自分たちが地域を盛り上げたい、地域のイベントを作りたい、イベントに参加したいという、素晴らしい意見をいただきました。今、山陽小野田市も協創のまちづくりということで、各地域、小学校区ごとに、地域運営組織をつくって地域から盛り上がっていただきたいという仕組みづくりをしています。中学生のほうから多くの意見を出していただけたらというふうに思います。そうした中で、市もお手伝いをさせていただき、一緒にまちをつくっていこうと思いますので、よろしくをお願いします。

◎空き家リフォーム、空き家カフェを作る

(川崎市民部長)

厚陽地区だけでなく、市内には多くの空き家があります。

空き家の利活用を進めるため、空き家を売りたい、貸したい人と、空き家を買いたい、借りたい人をつなげる空き家バンクという事業を行っています。また、条件がありますが、空き家を住宅やお店にリフォームする場合に、その費用を補助する制度も幾つかあります。

議員さんから御提案のあった空き家カフェは、空き家を活用して人々の交流が増え、テーマである人が集まることにつながり、とても良いアイデアだと思います。カフェではありませんが、最近の事例では、山陽小野田市が支援して、空き家をリニューアルし、美容室や飲食店を開業した方もいらっしゃいます。

皆さんのいろいろなアイデアをますます出していただき一緒に、人が集まるまち、住みたくなるまちづくりを実現していけたらと思います。

◎市の魅力をPR動画にしてネット配信する

(川地総務部長)

山陽小野田市の職員がドローン飛ばし、手作りの動画をつくって今配信をしております。こういったことで動画配信が見やすいので、観光協会が今後やられるハッシュタグキャンペーンに皆さんがたくさん応募し、PRしていただくことも大変助かります。

今回の市議会の皆さんの御意見を聞く中で、非常にまちづくりに対する思いが強いとわかります。将来ぜひとも山陽小野田市のまちづくりに携わりたいと思われる方は、山陽小野田市役所に入って一緒に頑張ってもらえればと思っております。

◎ショッピングセンターや道の駅を作る

(古川副市長)

ショッピングセンターや道の駅を誘致するには、その辺りを活性化していく必要があります。山陽小野田市におきましても、厚狭駅南口の活性化の推進にいろいろ進めております。最近では保育所の誘致をし、その後は、経営の賃貸住宅の誘致等も進んでおりますが、さらに厚狭駅の推進を進めていくということが必要と思います。そして、人が集まる、まち住みたくなるまちという、御指導、御指摘をいただいておりますが、まだ、第2次総合計画の中期基本計画の中で、やはり住んでよかった、住みやすい、外からは、山陽小野田市に住みたいと思うような、まちづくりを進めていきたいと思っております。

先ほどもいろいろ御提案がございましたが、厚狭駅周辺をどのようにしたらいいかという意見がございましたら、ますます寄せていただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。



テーマ『自分たちの町・山陽小野田市の活性化をめざして、できること』

《市として行ってほしいこと》

- ◎市全体での、清掃活動
- ◎山陽小野田市のいいところをアピールするイベントを行う
- ◎地域の有名スポットを生かした行事を行う
- ◎青年の家のプールなどの利用ができるといいなと思う
- ◎身近な場所に買い物（食品など）ができる場所があるといいなと思う

《自分たちができること・やっていきたいこと》

- ◎ゴミひろい運動
- ◎山陽小野田市 PR ポスターづくり
- ◎自分たちが地域のお店などと協力して、商品開発
- ◎学校でつくったものを、行事などで地域の人たちに販売する

《市からの回答》

- ◎市全体での、清掃活動
(川崎市民部長)

毎年7月または8月のどちらかの日曜日に、おもてなし大作戦として、各地域で清掃活動が行われています。

これは、山陽小野田市の快適環境づくり協議会と自治会連合会の主催で行っておりますが、地域のごみ拾いや草刈りなどを行い、まちをきれいにして、お盆にふるさとに帰省する方や観光で訪れる方々を快く迎えようというおもてなしの気持ちから実施しているものです。

また、地域によっては、毎年数千人の市民が参加する河川清掃大会なども実施されて

います。皆様のごみ拾い活動運動されようというお気持ちがとてもうれしく思っております。

このような地域で行われている清掃行事は、回覧板、山陽小野田市のホームページにも載っていますので、ぜひ積極的に参加していただき、一緒に山陽小野田市の活性化が目指していければうれしいと思っています。

◎山陽小野田市のいいところをアピールするイベントを行う

◎地域の有名スポットを生かした行事を行う

(古川副市長)

情報発信は、山陽小野田市の人には山陽小野田市のことをよく知っていただくのも必要ですが、市外県外の人に山陽小野田市とはどういうまちかということを知ってもらうのも必要だということの中で、この1、2年やっているのが、レノファ山口の試合が行われる山口市の維新みらいスタジアムや、広島カープの試合が行われる広島のマツダスタジアムに赴きまして、会場の大型ビジョンを使って、山陽オートレースの映像や、山陽小野田市の新しいガラスブランドである CLASS GLASS の映像を流し、また、スタジアムの外では、ガラポン抽選会を行い、山陽小野田市の特産品やガラス制作体験チケット、また、市内レストランの食事券の景品にして、山陽小野田市のいいところを PR しているところです。

それと、山陽小野田市はガラスのまちということで、平成13年から現代ガラス展というガラス展を3年に1度、開催しております。当時から8回目まで行いましたが、5、6回までは山陽小野田市内だけ、7回目には、萩の県立美術館の浦上美術館にも展示しましたし、8回目の一昨年は、東京の上野の森美術館にも展示させていただきました。このように、山陽小野田市内はもとより、市外県外にも山陽小野田市の資源を PR しているという動きをしているところです。

有名スポットを生かした行事ということで、先ほども言われました花の海、オートレース場、みちしお、山陽小野田市には観光資源がたくさんあります。御指摘の中に、山陽小野田市は少し PR 不足かなというような御指摘もありました。言われるように、山陽小野田市は少し PR、アピールが苦手ということもありますが、平成30年度に、シティセールス課をつくって、市外県外への PR をどんどん進めております。今後も、御期待いただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

◎青年の家のプールなどの利用ができるといいなと思う

(長谷川教育長)

青年の家のプールは、開設から56年が過ぎております。老朽化が激しく、今後の施設の維持管理が困難な状態となっております。このことから、山陽小野田市の計画において、青年の家のプール等については、今後解体する予定となっております。また現在ほとんどの小学校にプールが設置されていることから、青年の家のプールは、既にその役目を終えております。既存のプールを改修し再利用することは、残念ながら難しい状況だと考えています。

しかしながら、青年の家と糸根公園一帯は、山陽小野田市の財産であると考えています。現在、新しい糸根公園の整備計画を作成中です。プール等の施設を解体した後の青年の家と糸根公園を一体的に整理し、市民の健康づくりやレクリエーションの拠点、交流の拠点としての機能を持った新たな都市公園に向けて、再整備を行っていく予定となっております。どのような施設ができるかは、現時点では未定でございますが、楽しみ

にしていただけたらと思います。

◎身近な場所に買い物（食品など）ができる場所があるといいなと思う
（辻村経済部長）

埴生地区では平成31年2月にレッドキャベツ埴生店が撤退して以降、地区内にはスーパーマーケットがなく、民間の移動販売車が入って、買物が困難な方への対応を行っているのが実情です。

スーパーマーケットは民間の事業者が行うために、お店の場所や集客など経営を考えて出店するかどうかを決定されますので、今すぐにお店の誘致をすることは困難な状況ですけれども、今後も、スーパーマーケットを運営されている方に、埴生地区での出展していただけないかというお願いをしてみたいと思っています。

また、バス等の交通機関を活用して買物が不便な地域が解消できるよう研究していきたいと考えており、踏まえまして地産地消、地場産品を使った商品の開発についての考えを述べられましたけど、ぜひ、取り組んでいただければと思います。山陽小野田市としても、そういった取組を支援していきたいとは考えております。

今後皆さんのような若い方に、自分たちのまち山陽小野田市を意識していただいて、まちの活性化と一緒に取り組んでいただければと思います。



【議長感想】

高千帆中学校 塩田 七海 議長

皆さんのおかげでスムーズに進行することが出来ました。御協力ありがとうございました。

小野田中学校 十河 航 議長

議長を務めて、とても緊張したのですが、自分の成長につながる、よい経験になったと思います。ありがとうございました。



講 評

山陽小野田市長 藤田 剛二 様

長時間にわたり大変貴重な御意見御提言をいただき、心から感謝申し上げます。

今日はほとんどが3年生の皆さん、そして2年生の皆さん方もいらっしゃると聞いております。3年生の皆さんは受験勉強を控えて大変大切なこの時間を中学生市議会に時間を割いていただいて本当にありがたく思っております。

お集まりの皆さんは、おそらく中学校1年生のときからコロナでいろんなことが制限をされてきたのだらうと思っております。中学生生活こんなはずじゃなかったという思いもお持ちかもしれません。また、友達関係を大切にしながら、先生方のご支援をいただき、充実した中学校生活を送っていらっしゃると思いますが、制限がある中で、いろんな経験を積むという本来できることができなかつた環境も、もしかしたらあつたかもしれません。そういった中におきましては、今日の中学生市議会にそれぞれが立派な議員そして議長の役割を担っていただいたことが皆さん方の中で、中学生生活の1つの大きな思い出に記憶へと残ってもらえたらうれしいと思っております。

またこの貴重な会をつくっていただいた山陽小野田市ふるさとづくり協議会の関係者の方々、そして6つの中学校の中で皆さんを力強くサポートしていただきました先生方に心から感謝申し上げたいと思います。講評という話でしたが御礼の御挨拶を少しさせていただけたらと思っております。

今日の御提案について、本来なら1つずつお答えをしたいところですが割愛させていただきます。大きく分けて3つに分かれると思います。皆さん方から言われて改めて気づくことが1つ。それと、同じ方向を向いて同じ課題の共有が出て、今我々が取り組んでいるのが2つ。そして、皆さん方のおっしゃるとおり、それを大切なのでこれから行おうとしている、今トライしているという3つに大きく分かれるだらうと思っております。また、今回は3回目でも過去2回も皆さん方の先輩から大変貴重なアイデア提案をいただいております。

何人かの方から、ごみの問題もご意見いただきました。地域の皆さん方の御協力で山陽小野田市は、どちらかといえば、ごみについては環境整備をしていただいているという感謝を申し上げていました。しかし皆さん方から、もっと環境美化に力を入れるべきではないかと言葉をいただきました。これは私にとって本当に大きな気づきとなります。やはり、さらに山陽小野田市をいい町にして、他市から来た皆さんに、ごみがなくてきれいな町だといってもらえるには、もっともっとレベルアップしていかないとはいけません。これは一部の人だけのボランティア精神だけではなく、市民全員の方でこれを進めることが必要であると改めて気づくことが出来ました。本当に感謝申し上げたいと思います。

山陽小野田市を代表するイベントが欲しいという話も何回か聞いておりますが、今年の10月30日はスマイル・ハロウィンパーティーを3年ぶりに行います。ぜひ皆さん方参加していただいて、また見に来てもらって一緒に楽しみたいという思いもございません。

また交通網の話も随分御要望として出ております。これは山陽小野田市としても最大級の重要なテーマという位置づけで、徐々にではありますが改善策を今取り組んでいるところです。

それから特に皆さん方の世代ですから、SNS 等の情報発信、特に若い人たちに伝わるようなことをもっとやるべきだというお話もございました。部長から説明がありましたホームページ、SNS の活用を今既にスタートはしていますが、その効果はどうかと言われると今やっていますとしか言えない状況でもありますので、皆さんの御指摘のとおり、しっかり情報発信力を入れていきたいと思っております。この10月には観光協会の皆さん方と連携してインスタグラムハッシュタグキャンペーンを行います。これは全ての皆さん方に参加していただいて、いろんな情報を上げていただくイベントにもなります。今日皆さん方や私たちにできることと随分前向きなお話をしていただきました。ぜひ御参加いただいたらありがたいな思っております。

今日1つ1つ大変貴重な御提案をいただいて、これを市政に反映していくことがここに座っている我々の責任だと思っております。市政に反映するとはどういうことかという、それは来年度以降の事業施策に展開をしていく、その事業に反映していく、その予算をつけるということになります。今年度から新たな取組となりますが、皆さん方からいただいた御提案、それを担当課が行いたいこととリンクする事業については中学生市議会の提案ということをチェックすることにしたいと思っております。そうすることで、これは担当課の考えもあるけども、この中学生市議会で皆さん方からいろんな提案をいただいた大変貴重なことなので優先順位を上げて予算をつける仕組みを今年度から考えているところで、実施しますので、皆さん方も今日言っていただいたことが今日限りで終わるのではなく、それは市政に反映をされるということ、本当に実施をするというのが我々の責任として皆さん方にもお伝えをしたいというふうに思っております。

今日の話の中で何回か、協創によるまちづくりという言葉が出てきました。協創とは協力して新しいものをつくっていこうというもので、まさしく、この場に来ていろんな御意見をいただき我々もそれにお答えして何かやろうということ、これが施策の協創ということになります。市民の皆さん方、若い方と一緒に、まちづくりをやっていきたいという思いで今進めておりますので、今日いい機会をいただき皆さん方にもいい経験を積んでいただいたと思っております。ぜひこれからも市政のために一緒に力を尽くしてもらえたらうれしいです。その先には何があるのかというと、今日皆さん一緒に缶バッチをつけてもらっています。スマイルシティ山陽小野田、これを皆さんと一緒につくっていきましょうというのが我々のメッセージでございますので、それをぜひやっつけていこうと、そんなことを改めて考え直す、いいきっかけに今日はなつたと大変ありがたく思っております。

これからの山陽小野田市をつくっていくのは、ここにいらっしゃる若い皆さん方です。今我々は、現役として市政を担っておりますけども、いい形で皆さん方にバトンタッチをする役も、認識しながら市政を進めております。しっかり皆さんの言葉に耳を傾けて、一緒にまちづくりをして、そしていい形で、皆さん方が10年20年30年後、社会の主役になられたときに、また我々の思いをしっかり組んでいただいて、いい山陽小野田市をつくっていただきたいなという、最後にエールをお送りして、感謝の御礼の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

山陽小野田市議会議長 高松 秀樹 様

皆さんお疲れさまでした。

議長の進行は非常に本番さながらで議事を行ったと思います。質問者も2人1組の質問はこういうふうな形であるという新しい議会の姿を見た気がしております。

この議場という場所は、市民のために自由活発に議論をする場であり、議会活動の中心の場となっております。市議会の一般質問は70分あります。今日皆さんは、5分程度質問されて、再質問された方もいましたが、実はモニターに皆さんの名前が出ていました。あの下には本来の市議会では残り時間が出ており70分からカウントダウンがされます。我々は最初の執行部の答弁に納得がいかない、また疑義があった場合は再質問をずっと繰り返します。その最大の時間が70分で一般質問のときは質疑を日々重ねておるところです。この神聖な場所での一般質問は皆さんにとって非常に貴重な経験だったと思います。こういうことは私たちのときはありませんでした。また、3年生の場合はもう機会がない気がしております。非常に貴重な経験をされたと思っております。皆さんから感想をお聞きしたいところです。特に、議長を務められました塩田さん、十河くんは非常に緊張したと思います。お疲れさまでした。

今日は現職議員が10人以上傍聴に入っています。今日の議会において、総務部長がスケッチブックで図表表示しました。実は本来の議会ですら1度もなかったです。議員側が国会で行う中継がよくありますが、図表を示して行うのは、議員側が今後やりたいと思っていたことです。総務部長がやられたので我々もやりやすくなりましたので、今後取り入れていければと思っております。

一般質問内容ですが、大変興味深く聞かせてもらいました。ボリュームが結構あり、いろいろ見ると市長が申されました気づきが我々もありました。例えば緑地公園が暗いといった問題ですが、我々車の使用が多い大人には車のライトがありますから道が暗いというのがわからず、なるほどと思いました。湾岸道路を宇部湾岸につなげたらどうかというなかなか難しい質問もありました。執行部の答弁に困るような質問であり、良いポイントだと思っております。また SNS 映えするスポット、これも我々の感覚がなかなかないですが中学生の感性で質問をされたと思っております。さらに、ゴルフでまちづくりに関しては、私もゴルフをしますが大賛成です。こういったことも今後現職議員が一般質問等を出していけたらと思っております。また、厚狭をエモい町に、エモいという言葉が我々使いませんが、こうやって中学生の皆さんが使うようになるほどと改めて感じております。そして空き家カフェも非常にいいアイデアだったと思っております。最後に、市長も申されました、ごみの問題は我々もなくしたいです。これをどうやってなくしたらいいかも我々の市議会の中で今後協議をしていきたいと思っております。

皆さんの質問は各中学校代表しての質問だったと思っております。その質問に対して、市長が考え方を述べ、今日は議会参与の部長が中心に答えましたが、執行部が答え、そしてまた必要性があれば提案に沿った政策を、執行部、市のほうがつくり上げていくこととなります。つまり、皆さんが言った提案で、もしかしたら今後数年後に、市の政策として出るかもしれません。そのときには家族の皆さんに、私が言ったものということで自慢されたらと思っております。皆さんが各中学校の代表であり中学生の代表のように、まさしく我々、今22人の議員がおります。22人の議員から成る市議会も市民の代表です。市民の代表であり、この一般質問の場で、市長の初心をただし、政策提案を行っているところがございます。また、この議場は、一般質問だけではなく、市政に関する様々な事業や提案に対して、我々がイエスまたはノーの意思表示をしていく場です。こ

のように、市民の代表である議会が、様々な意思決定をしていく制度を、皆さん社会で習われた議会制民主主義と言います。このようにして、日本では政治が行われているということです。

皆さんは、あと3、4年で18歳となり選挙権持ちます。ぜひこのまちの未来のために、投票という権利を行使してほしいと思っております。また、選挙権を持ってから数年後の25歳は被選挙権を持つ年齢です。25歳になったら議員などに立候補することが出来ます。つまり本物の議員として、こういう壇上に立つことができます。先ほど部長は、職員になってくださいという話でしたが、職員でも議員でも、まちづくりに携わることができる仕事だというふうに思います。ちなみに、山陽小野田市議会の議員の年齢構成は20代0名、30代1名です。30代1名を確認しますと明日誕生日で40代になるということで30代が0名になります。20代30代の年齢層がないという話です。皆さんの声が本当に、議場または市に伝わるのかという部分があると思います。ぜひ若い世代が活躍できる機会になればいいと私は思っております。

最後に、議会のPRをします。今日の本会議、我々委員会をやっております。これは中継があり、また録画をホームページから流しております。ぜひ見ていただきたいと思っております。もう1つ、議会で決まったことを議会報告会という形を各地域交流センター等でやっております。ただし、この2年間はコロナのため出来ないという状況でありますので、ユーチューブで配信しています。ユーチューブの配信は議会だよりのQRコードをスマホで読み取ってもらえれば見られますので、ぜひ見ていただきたいと思っております。

結びに、本日の中学生議会の開催に御尽力されました、山陽小野田市ふるさとづくり協議会の皆さんに心から敬意を表するものであります。以上、講評とさせていただきます。ありがとうございました。



山陽小野田市教育長 長谷川 裕 様

皆さんお疲れさまでした。緊張したと思います。

私も教育長になって4年目を迎えますが、この議場で発言するときにはピンと背筋が伸びる思いがします。しかし今日、前で発言をした皆さんの姿を見ていて、とても立派で堂々としており、頼もしく思えました。人前で自分の考えをはっきり述べられる人は素敵でカッコいいと思います。今日は、そんな姿が増えたことをとてもうれしく思いました。これからもその姿勢を学校生活の中でも大事にしてください。

学校での学びに少し目を向けてみたいと思います。昨年、中学校の教科書が改定され新しい教科書になりました。国は、約10年に1度、教育の方針について見直しを行っています。それを受けて教科書も変わりますが、新しく示された国の方針に、社会に開かれた教育課程、という概念が出てきます。これを簡単に言うと、学校で学んだことを、社会や生活で生かす力を育む学校だけの学びで終わっては駄目ということです。学校だけの学びで終わってはいけません。そこには、社会のつながりの中において、学ぶことで、皆さんに自分の力で人生や社会をよくすることができるという実感を持たせたいとの思いが込められています。まさに、今日の中学生議会は、その学びの場にふさわしい場であったと考えています。

先ほど、市長からもありましたように、自分も、協創によるまちづくりを担う1人だということをしっかり自覚してもらい、課題意識を持って、自分にできることがないか、何ができるかを考えながら行動して行ってほしいと願っています。

終わりになりますけれども、本日、中学生に学校では出来ない貴重な学びの場を提供して下さった山陽小野田市ふるさとづくり協議会の皆さんを初め、御協力いただいた、市議会議員の皆さん、そして市長はじめ市職員の皆さん、そして、生徒を指導して下さった先生方に厚く御礼を申し上げまして、私からの講評とさせていただきます。本日はお疲れさまでした。



